

令和 2 年度

企業会計決算資料



## 【 目 次 】

病院事業会計 . . . . .	3
下水道事業会計 . . . . .	17
水道事業会計 . . . . .	35
職員人件費 . . . . .	55

### 凡 例

- ① 職員人件費については、P. 55 に一覧にして掲載しています。  
(病院事業会計のみ、個別に説明あり P. 7)
- ② 不用額の理由  
不用額が 200 万円以上かつ執行率（決算額／予算現額－翌年度繰越額）が 95%未満の場合に記載しています。



# 病 院 事 業 会 計



(病院事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業収益/1項 医業収益/1目 入院収益	当初予算額 13,891,606,000
局/部/課 保健福祉局/市立病院病院経営部/医事課	補正予算額 △ 1,921,067,000
<主な成果> 入院収益は12,521,651,283円で、1人1日当たり74,319円となりました。 また、入院患者数は延べ168,485人、1日平均461.6人となりました。	繰越財源充当額 0
	予算現額 11,970,539,000
	決算額 12,521,651,283
	前年度決算額 11,375,715,118
	増減 1,145,936,165

(病院事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業収益/1項 医業収益/2目 外来収益	当初予算額 3,392,721,000
局/部/課 保健福祉局/市立病院病院経営部/医事課	補正予算額 0
<主な成果> 外来収益は3,690,228,632円で、1人1日当たり16,431円となりました。 また、外来患者数は延べ224,592人、1日平均924.2人となりました。	繰越財源充当額 0
	予算現額 3,392,721,000
	決算額 3,690,228,632
	前年度決算額 3,374,291,445
	増減 315,937,187

(病院事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業収益/1項 医業収益/3目 負担金交付金	当初予算額 742,754,000
局/部/課 保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	補正予算額 0
<主な成果> 病院経営による収入をもって充てることができない経費を、地方公営企業法に定める経費の負担の原則に基づき、一般会計から繰入れました。	繰越財源充当額 0
	予算現額 742,754,000
	決算額 522,115,434
	前年度決算額 422,697,765
	増減 99,417,669

(病院事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業収益/2項 医業外収益/2目 国県市補助金	当初予算額 36,137,000
局/部/課 保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	補正予算額 2,271,500,000
<主な成果> 国県市補助金として、3,447,573,820円が交付されました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○通常分 33,134,820円             <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床研修費等補助金 13,876,000円</li> <li>・がん診療連携拠点病院機能強化事業費補助金 3,540,000円</li> <li>・周産期医療施設運営費補助金 5,490,000円</li> </ul> </li> <li>○新型コロナウイルス感染症対応分 3,414,439,000円             <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療提供体制支援事業費補助金 3,169,593,000円</li> <li>・入院病床確保等事業補助金 128,441,000円</li> <li>・入院受入医療機関緊急支援事業補助金 58,041,000円</li> </ul> </li> </ul>	繰越財源充当額 0
	予算現額 2,307,637,000
	決算額 3,447,573,820
	前年度決算額 40,770,370
	増減 3,406,803,450

(病院事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業収益/2項 医業外収益/3目 負担金交付金	当初予算額 2,320,970,000
局/部/課 保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	補正予算額 △ 95,264,000
<主な成果> 病院の収入をもって充てることが困難であると認められる経費を、地方公営企業法に定める経費の負担の原則に基づき、一般会計から繰入れました。	繰越財源充当額 0
	予算現額 2,225,706,000
	決算額 1,598,279,010
	前年度決算額 1,834,007,397
	増 減 △ 235,728,387

(病院事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 資本的収入/1項 企業債/1目 企業債	当初予算額 1,264,400,000
局/部/課 保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	補正予算額 △ 1,030,400,000
<主な成果> 病院の医療機器整備事業に係る財源として、企業債を借り入れました。 ・市立病院医療機器整備事業 165,200,000円	繰越財源充当額 0
	予算現額 234,000,000
	決算額 165,200,000
	前年度決算額 25,964,100,000
	増 減 △ 25,798,900,000

(病院事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 資本的収入/2項 出資金/1目 出資金	当初予算額 108,469,000
局/部/課 保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	補正予算額 0
<主な成果> 企業債元金償還金について、地方公営企業法に定める経費の負担の原則に基づき、一般会計から繰入れました。	繰越財源充当額 0
	予算現額 108,469,000
	決算額 108,468,085
	前年度決算額 154,522,321
	増 減 △ 46,054,236

(病院事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 資本的収入/3項 負担金/1目 負担金	当初予算額 398,532,000
局/部/課 保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	補正予算額 0
<主な成果> 企業債元金償還金について、地方公営企業法に定める経費の負担の原則に基づき、一般会計から繰入れました。	繰越財源充当額 0
	予算現額 398,532,000
	決算額 398,532,000
	前年度決算額 0
	増 減 398,532,000



款/項/目 1款 病院事業費用/1項 医業費用/1目 給与費		当初予算額	11,180,339,000																								
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院総務課	資料(当初)P. 5	補正予算額 △ 237,478,000																								
<事業の目的・内容> 職員給与の支払、退職給付引当金及び賞与引当金への引当て等を行います。		概要(2補)P. 48	前年度繰越額 0																								
			流用額 0																								
			予備費充用額 0																								
			予算現額 10,942,861,000																								
			決算額 10,515,480,366																								
			翌年度繰越額 0																								
			不用額 427,380,634																								
			前年度決算額 9,003,803,874																								
			増減 1,511,676,492																								
<主な事業の成果>																											
1 職員給与費	7,985,843,654	4 退職給付費・賞与引当金繰入額	1,040,533,000																								
医療機能の維持強化やチーム医療の推進、より高度で安全な医療機能の提供体制の構築等、病院経営に必要な常勤職員及びフルタイム会計年度任用職員への給与の支払を行いました。		退職給付引当金(将来退職した場合に支給すべき退職金)への引当て及び翌年度支給する賞与(翌年度の賞与支給予定のうち支給対象期間が当年度のもの)の引当てを行いました。																									
2 非常勤職員報酬	129,264,260	[参考] 各職種の充足率(R02年度末)																									
円滑な病院経営を行うため、非常勤副院長及びパートタイム会計年度任用職員への報酬の支払を行いました。		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>計画(人)</th> <th>実員(人)</th> <th>充足率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>135</td> <td>107</td> <td>79.3</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>672</td> <td>659</td> <td>98.1</td> </tr> <tr> <td>医療技術員</td> <td>162</td> <td>159</td> <td>98.1</td> </tr> <tr> <td>事務員</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>労務員</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>77.8</td> </tr> </tbody> </table>			計画(人)	実員(人)	充足率(%)	医師	135	107	79.3	看護師	672	659	98.1	医療技術員	162	159	98.1	事務員	60	60	100.0	労務員	9	7	77.8
	計画(人)	実員(人)	充足率(%)																								
医師	135	107	79.3																								
看護師	672	659	98.1																								
医療技術員	162	159	98.1																								
事務員	60	60	100.0																								
労務員	9	7	77.8																								
3 法定福利費	1,359,839,452																										
共済組合への負担金や災害補償負担金及び会計年度任用職員に係る健康・厚生年金保険料、雇用保険料、労災保険料の支払を行いました。																											

款/項/目 1款 病院事業費用/1項 医業費用/2目 材料費		当初予算額	4,409,518,000										
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	資料(当初)P. 5	補正予算額 0										
<事業の目的・内容> 診療のための薬品、診療材料等の調達を行います。			前年度繰越額 0										
			流用額 0										
			予備費充用額 0										
			予算現額 4,409,518,000										
			決算額 4,304,106,731										
			翌年度繰越額 0										
			不用額 105,411,269										
			前年度決算額 3,817,910,745										
			増減 486,195,986										
<主な事業の成果>													
1 薬品費	2,291,828,632	[参考] 材料費対医業収益比率の推移											
手術や処置、抗がん剤治療、放射線治療等の診療に必要な医薬品(内用薬、注射薬、外用薬)、試薬等の調達を行いました。		<table border="1"> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>24.6%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>26.4%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>24.6%</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>24.8%</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>25.2%</td> </tr> </tbody> </table>		H28	24.6%	H29	26.4%	H30	24.6%	R01	24.8%	R02	25.2%
H28	24.6%												
H29	26.4%												
H30	24.6%												
R01	24.8%												
R02	25.2%												
2 診療材料費	1,999,517,054												
手術に用いる冠動脈カテーテル、心臓ペースメーカー、人工関節、注射針、手袋、糸やチューブ等の診療に必要な物品の調達を行いました。													
3 医療消耗備品費	12,761,045												
褥瘡予防用エアマット、パルスオキシメーター及び新生児用体重計等の医療機器の調達を行いました。													

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/1項 医業費用/3目 経費			当初予算額	4,213,486,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院総務課	資料(当初)P. 6	補正予算額	32,199,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院施設管理課	概要(2補)P. 48	前年度繰越額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課		流用額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/医事課/情報管理室		予備費充用額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院患者支援センター		予算現額	4,245,685,000
<事業の目的・内容> 医師の招へい、建物・備品等の維持管理、医療機器等の賃借、管理業務等の委託及び貸倒引当金への引当てなどを行います。  <不用額の理由> 光熱水費や委託料が当初の見込みを下回ったため。  <主な事業の成果>			決算額	3,879,065,439
			翌年度繰越額	0
			不用額	366,619,561
			前年度決算額	4,081,309,968
			増減	△ 202,244,529
1 病院管理運営事業	629,487,355	4 寝具・システム等賃借事業	303,519,392	
事務用品等の購入、施設保険等の加入、病院案内等の印刷、光熱水費及び通信運搬費の支払などを行いました。		人工呼吸器、排痰補助装置等の在宅医療機器や睡眠時無呼吸検査装置等の医療機器、寝具・カーテン及び駐車場用地等の賃借を行いました。		
2 医師の招へい等事業	405,288,000	5 建物・システム等管理委託事業	2,420,701,521	
医療機能の維持強化等に必要な医師の招へい等を行いました。		専門性の高い医事業務、心電図解析・腫瘍等検査、医療機器保守、ESCOサービス及び業務の効率化が可能な給食や洗濯業務等の業務委託を行いました。		
3 建物・備品等維持管理事業	111,219,622	6 貸倒引当金繰入額	8,849,549	
建物・施設設備の維持修繕や、医療機器の点検修理等を行いました。		未収金について、将来的に回収困難と認められる額を見積り、貸倒引当金への引当てを行いました。		

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/1項 医業費用/4目 減価償却費			当初予算額	3,451,723,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院総務課	資料(当初)P. 6	補正予算額	△ 200,000,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院施設管理課	概要(2補)P. 48	前年度繰越額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課		流用額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/医事課		予備費充用額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/情報管理室		予算現額	3,251,723,000
<事業の目的・内容> 償却資産について、耐用年数に応じて当該資産の価値減耗を費用化するための減価償却費を計上するものです。  <主な事業の成果>			決算額	3,144,268,071
			翌年度繰越額	0
			不用額	107,454,929
			前年度決算額	1,494,275,869
			増減	1,649,992,202
1 建物減価償却費	1,453,693,075	4 車両減価償却費	687,384	
病棟等の建物に係る減価償却費を計上しました。		自動車等の車両に係る減価償却費を計上しました。		
2 構築物減価償却費	25,951,168	5 リース資産減価償却費	530,131,476	
外構、擁壁等の構築物に係る減価償却費を計上しました。		リース資産に係る減価償却費を計上しました。		
3 器械備品減価償却費	1,129,418,534	6 ソフトウェア償却費	4,386,434	
医療機器等の器械備品に係る減価償却費を計上しました。		システムのソフトウェアに係る減価償却費を計上しました。		

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/1項 医業費用/5目 資産減耗費			当初予算額	12,144,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院施設管理課	資料(当初)P. 7	補正予算額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課		前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> たな卸資産の破損等による減耗費及び固定資産の使用等に伴う滅失、廃棄による除却費を計上します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	12,144,000
			決算額	5,744,658
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> 固定資産の除却が当初の見込みより少なかったため。			不用額	6,399,342
			前年度決算額	5,161,555
			増減	583,103
<主な事業の成果>				
1 たな卸資産減耗費		1,424,739		
たな卸資産である薬品等の減耗による損失額を執行しました。				
2 固定資産除却費		4,319,919		
老朽化等により固定資産を廃棄する際の簿価を費用として執行しました。				

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/1項 医業費用/6目 研究研修費			当初予算額	63,514,000			
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院総務課	資料(当初)P. 7	補正予算額	△ 5,026,000			
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院施設管理課	概要(2補)P. 48	前年度繰越額	0			
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課		流用額	0			
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/医事課		予備費充用額	0			
<事業の目的・内容> 質の高い医療を提供するため、医師等の研修・研究活動に必要な講演会や学会への参加、医療図書の購入等を行います。			予算現額	58,488,000			
			決算額	31,182,867			
			翌年度繰越額	0			
			不用額	27,305,133			
			前年度決算額	41,387,300			
<不用額の理由> 治験受託に伴う収益が当初の見込みよりも少なかったため。			増減	△ 10,204,433			
			<主な事業の成果>				
			1 講師謝金		648,000	4 研修参加費等	
各種講演会、研究会等の開催で依頼する講師への謝金の支払を行いました。							
各種講演会、研究会等への参加負担金及び治験受託に伴う調査研究費等の支払を行いました。							
2 図書購入費		15,888,229					
医療用図書等の購入費の支払を行いました。							
3 旅費		919,763					
各種講演会、研究会及び学会等への参加に伴う旅費の支払を行いました。							

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/2項 医業外費用/1目 支払利息及び企業債取扱諸費			当初予算額	61,803,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	資料(当初)P. 8	補正予算額	△ 5,094,000
<事業の目的・内容> 企業債及び一時借入金の利息の支払を行います。		概要(2補)P. 48	前年度繰越額	0
			流用額	△ 2,800,000
			予備費充用額	0
			予算現額	53,909,000
			決算額	53,893,819
			翌年度繰越額	0
			不用額	15,181
			前年度決算額	43,730,133
			増減	10,163,686
<主な事業の成果>				
1 企業債利息		53,893,819		
建設改良工事や医療機器整備のため借り入れた企業債利息の支払を行いました。				
2 一時借入金利息				
年度途中の一時的な資金不足がなかったため、一時借入金の借入れを行いませんでした。				

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/2項 医業外費用/2目 長期前払消費税勘定償却			当初予算額	347,671,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	資料(当初)P. 8	補正予算額	△ 4,310,000
<事業の目的・内容> 長期前払消費税の償却を行います。		概要(2補)P. 48	前年度繰越額	0
			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	343,361,000
			決算額	343,360,459
			翌年度繰越額	0
			不用額	541
			前年度決算額	107,307,096
			増減	236,053,363
<主な事業の成果>				
1 長期前払消費税勘定償却		343,360,459		
固定資産に係る控除対象外消費税額を長期前払消費税として該当区分の期間に繰り延べて均等償却を行いました。				
※控除対象外消費税額 納税計算で控除できなかった課税仕入れに係る消費税額。				

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/2項 医業外費用/3目 消費税			当初予算額	11,000,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	資料(当初)P. 9	補正予算額	0
<事業の目的・内容> 期中の納税計算による消費税を納税します。			前年度繰越額	0
			流用額	16,699,000
			予備費充用額	0
			予算現額	27,699,000
			決算額	27,698,200
			翌年度繰越額	0
			不用額	800
			前年度決算額	0
			増減	27,698,200
<主な事業の成果> 1 消費税 27,698,200 課税取引で預かった消費税及び地方消費税額の納付を行いました。				

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/2項 医業外費用/4目 職員宿舍費			当初予算額	86,577,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院総務課	資料(当初)P. 9	補正予算額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院施設管理課		前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 医師の確保及び医師の緊急呼出しの対応を迅速に行うため、市内の民間住宅を借上げて医師宿舍として提供します。また、看護師の確保のため、看護師寮「しらさぎ寮」の管理運営を行います。			流用額	△ 4,112,000
			予備費充用額	0
			予算現額	82,465,000
			決算額	81,988,207
			翌年度繰越額	0
			不用額	476,793
			前年度決算額	68,591,023
			増減	13,397,184
			<主な事業の成果> 1 職員宿舍費 63,047,854 医師宿舍として提供する民間住宅の借上げに係る、家賃、更新料及び更新手数料等の支払を行いました。	
2 看護師寮費 18,940,353 看護師寮「しらさぎ寮」の運営に係る、光熱水費、施設修繕等の管理運営費の支払を行いました。				

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/2項 医業外費用/5目 院内託児費			当初予算額	70,433,000																																																
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院総務課	資料(当初)P. 10	補正予算額	0																																																
<事業の目的・内容> 市立病院医療職員等の乳幼児生後8週から就学前までを対象とする、院内託児室の管理運営を行います。			前年度繰越額	0																																																
			流用額	△ 9,787,000																																																
			予備費充用額	0																																																
			予算現額	60,646,000																																																
			決算額	60,426,878																																																
			翌年度繰越額	0																																																
			不用額	219,122																																																
			前年度決算額	58,562,169																																																
増減	1,864,709																																																			
<主な事業の成果> 1 院内託児費 60,426,878 [参考] 院内託児室の管理運営業務について、業務委託を行いました。 入所者の推移 (単位：人/延べ人数)																																																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0歳</th> <th>1歳</th> <th>2歳</th> <th>3歳</th> <th>4歳</th> <th>5歳</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28</td> <td>14</td> <td>98</td> <td>84</td> <td>29</td> <td>18</td> <td>6</td> <td>249</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>6</td> <td>129</td> <td>110</td> <td>52</td> <td>26</td> <td>36</td> <td>359</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>25</td> <td>103</td> <td>112</td> <td>37</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>327</td> </tr> <tr> <td>R01</td> <td>31</td> <td>106</td> <td>89</td> <td>76</td> <td>29</td> <td>17</td> <td>348</td> </tr> <tr> <td>R02</td> <td>7</td> <td>143</td> <td>65</td> <td>74</td> <td>32</td> <td>36</td> <td>357</td> </tr> </tbody> </table>						0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	H28	14	98	84	29	18	6	249	H29	6	129	110	52	26	36	359	H30	25	103	112	37	23	27	327	R01	31	106	89	76	29	17	348	R02	7	143	65	74	32	36	357
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計																																													
H28	14	98	84	29	18	6	249																																													
H29	6	129	110	52	26	36	359																																													
H30	25	103	112	37	23	27	327																																													
R01	31	106	89	76	29	17	348																																													
R02	7	143	65	74	32	36	357																																													

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/2項 医業外費用/6目 雑損失			当初予算額	505,173,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院施設管理課	資料(当初)P. 10	補正予算額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課		前年度繰越額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/医事課		流用額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院患者支援センター		予備費充用額	0
<事業の目的・内容> たな卸資産(薬品・診療材料等)の購入に伴う控除対象外消費税額等の支払を行います。			予算現額	505,173,000
			決算額	424,138,624
			翌年度繰越額	0
			不用額	81,034,376
			前年度決算額	348,809,581
			増減	75,329,043
<主な事業の成果> 1 雑損失 424,138,624 たな卸資産(薬品・診療材料等)の購入に伴う控除対象外消費税額等の支払を行いました。				

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/3項 特別損失/1目 固定資産売却損		当初予算額	1,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	資料(当初)P. 11	
<事業の目的・内容> 固定資産を売却した際の売却価格と帳簿価格との差損を計上します。		補正予算額	0
		前年度繰越額	0
		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	1,000
		決算額	0
		翌年度繰越額	0
		不用額	1,000
		前年度決算額	0
		増減	0
<主な事業の成果> 1 固定資産売却損 固定資産の売却がなかったことから、費用は発生しませんでした。			

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 病院事業費用/3項 特別損失/2目 過年度損益修正損		当初予算額	1,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	資料(当初)P. 11	
<事業の目的・内容> 前年度以前の損益修正に伴う損失を計上します。		補正予算額	0
		前年度繰越額	0
		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	1,000
		決算額	0
		翌年度繰越額	0
		不用額	1,000
		前年度決算額	1,068,609,528
		増減	減 △ 1,068,609,528
<主な事業の成果> 1 過年度損益修正損 前年度以前における、過誤による料金の過大調定、減価償却費の計上不足等の差損は発生しませんでした。			

款/項/目 1款 病院事業費用/3項 特別損失/3目 その他特別損失			当初予算額	0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院総務課	概要(12補)P. 36	補正予算額	7,000,000
<事業の目的・内容> 損害賠償等請求調停申立事件に係る解決金を特別損失として計上します。			前年度繰越額	0
			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	7,000,000
			決算額	7,000,000
			翌年度繰越額	0
			不用額	0
			前年度決算額	600,375,446
			増減	△ 593,375,446
			<主な事業の成果> 1 補償・補てん及び賠償金 7,000,000 入院患者に係る損害賠償等請求調停申立事件について、申立人と本市との間で裁判所からの調定条項案に合意したため、解決金の支払を行いました。	



(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 資本的支出/1項 建設改良費/1目 建設改良工事費			当初予算額	1,152,653,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院施設管理課	資料(当初)P. 12	補正予算額	△ 1,105,048,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/情報管理室	概要(2補)P. 49	前年度繰越額	12,053,000
<事業の目的・内容> 市立病院の施設・設備の更新を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	59,658,000
			決算額	55,056,000
			翌年度繰越額	0
<不用額の理由> システム改修業務に関して、契約差額が発生したため。			不用額	4,602,000
			前年度決算額	21,393,166,982
			増減	△ 21,338,110,982
<主な事業の成果> 1 建設改良工事費 55,056,000 旧病棟解体工事修正設計及び医療総合情報システム改修業務等を行いました。				

(病院事業会計・支出)

(単位：円)

款/項/目 1款 資本的支出/1項 建設改良費/2目 固定資産購入費			当初予算額	285,000,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	資料(当初)P. 12	補正予算額	17,000,000
<事業の目的・内容> 医療機器等の調達を行います。			前年度繰越額	0
			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	302,000,000
			決算額	301,975,505
<主な事業の成果> 1 固定資産購入費 301,975,505 質の高い医療の提供及び病院機能拡充のための医療機器等の調達を行いました。			翌年度繰越額	0
			不用額	24,495
			前年度決算額	6,547,581,493
			増減	△ 6,245,605,988
[参考] 高額医療機器の購入状況(2千万円以上のうち主なもの)				
(単位：円)				
設置場所	名称	購入価(税抜)		
8 A 病棟	陰圧装置	36,962,000		
泌尿器科	泌尿器科用レーザー手術装置	34,990,000		
救命救急センター	救命救急等機器(その1)	25,890,000		
救命救急センター	人工呼吸器	22,950,000		

款/項/目 1款 資本的支出/1項 建設改良費/3目 リース資産購入費		当初予算額	587,048,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	資料(当初)P. 13	補正予算額 0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/医事課		前年度繰越額 0
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/情報管理室		流用額 0
<事業の目的・内容> リース資産の元本返済相当分の支払を行います。			予備費充用額 0
			予算現額 587,048,000
			決算額 583,050,660
			翌年度繰越額 0
			不用額 3,997,340
			前年度決算額 226,444,051
			増減 356,606,609
<主な事業の成果> 1 リース資産購入費 583,050,660 ファイナンス・リースに係るリース資産の元本返済を行いました。			
		[参考]	
		リース資産一覧	
		診療報酬加算算定チェックシステム	
		全自動細菌検査分析装置	
		全自動血液凝固測定装置	
		全自動検体検査総合システム	
		医療総合情報システム他4システム	
		情報端末用ネットワーク機器	
		院内業務システム	

款/項/目 1款 資本的支出/2項 企業債償還金/1目 企業債償還金		当初予算額	991,757,000
局/部/課	保健福祉局/市立病院病院経営部/病院財務課	資料(当初)P. 13	補正予算額 0
<事業の目的・内容> 企業債の元金償還金の支払を行います。			前年度繰越額 0
			流用額 0
			予備費充用額 0
			予算現額 991,757,000
			決算額 991,756,350
			翌年度繰越額 0
			不用額 650
		前年度決算額	192,492,932
		増減	799,263,418
<主な事業の成果> 1 企業債償還金 991,756,350 病院施設の建設改良工事等のため借入れた企業債元金の償還を行いました。			
		[参考]	
		企業債の概況	
(単位：円)			
R01年度末残高	R02年度借入額	R02年度償還高	R02年度末残高
34,120,455,745	165,200,000	991,756,350	33,293,899,395

# 下水道事業会計



## (下水道事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目	1款 下水道事業収益/1項 営業収益/1目 下水道使用料	当初予算額	18,679,811,000
収入名称	<b>下水道使用料</b>	補正予算額	△ 309,621,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道総務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 公共下水道の利用者に下水道使用料を賦課しました。		予算現額	18,370,190,000
		決算額	18,487,093,153
		前年度決算額	18,435,641,960
		増減	51,451,193

## (下水道事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目	1款 下水道事業収益/1項 営業収益/2目 他会計負担金	当初予算額	4,503,803,000
収入名称	<b>他会計負担金</b>	補正予算額	△ 10,515,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課	繰越財源充当額	0
<主な成果> 主に市税をもって賄う雨水処理に要する経費等を地方公営企業法が定める経費負担の原則に基づき、一般会計から繰入れました。		予算現額	4,493,288,000
		決算額	4,459,381,204
		前年度決算額	4,428,833,090
		増減	30,548,114

## (下水道事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目	1款 資本的収入/1項 企業債/1目 企業債	当初予算額	12,684,400,000
収入名称	<b>企業債</b>	補正予算額	△ 1,007,500,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課	繰越財源充当額	4,335,200,000
<主な成果> 建設改良工事等の財源として企業債を借り入れました。		予算現額	16,012,100,000
		決算額	11,458,200,000
		前年度決算額	11,479,900,000
		増減	△ 21,700,000

## (下水道事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目	1款 資本的収入/3項 国庫補助金/1目 国庫補助金	当初予算額	820,500,000
収入名称	<b>国庫補助金</b>	補正予算額	25,900,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道計画課	繰越財源充当額	484,500,000
<主な成果> 下水道施設建設に対する補助金が、補助率5/10で交付されました。		予算現額	1,330,900,000
		決算額	1,016,000,000
		前年度決算額	1,298,900,000
		増減	△ 282,900,000

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 <b>管きよ維持管理事業</b>		当初予算額	760,738,000	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課	補正予算額	△ 13,255,000	
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/1目 管きよ費	資料(当初)P. 17	前年度繰越額	0
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 下水道の機能を維持することを目的に管きよの清掃、点検、修繕等の維持管理を行います。		概要(2補)P. 50	流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	747,483,000
			決算額	710,654,774
			翌年度繰越額	0
			不用額	36,828,226
			前年度決算額	715,280,621
		増減	△ 4,625,847	
<b>&lt;主な事業の成果&gt;</b>				
1 管きよ施設等保守管理事業		464,627,129		
下水道管きよの機能を維持するため、管きよ施設の清掃や点検及び下水道法に定められた下水道台帳を更新しました。				
2 管きよ施設修繕事業		246,027,645		
下水道管きよの機能を維持するため、破損箇所等の緊急修繕を実施しました。				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 <b>ポンプ場維持管理事業</b>		当初予算額	724,379,000	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課	補正予算額	△ 47,000,000	
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/2目 ポンプ場費	資料(当初)P. 17	前年度繰越額	0
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 下水道の機能を維持することを目的にポンプ場の清掃、点検、修繕等の維持管理を行います。		概要(2補)P. 50	流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	677,379,000
			決算額	659,257,858
			翌年度繰越額	0
			不用額	18,121,142
			前年度決算額	683,847,849
		増減	△ 24,589,991	
<b>&lt;主な事業の成果&gt;</b>				
1 ポンプ場施設等保守管理事業		566,982,136		
ポンプ場の機能を維持するため、ポンプ施設の清掃や点検等を実施しました。				
2 ポンプ場施設修繕事業		92,275,722		
ポンプ場の機能を維持するため、機械、電気設備等の修繕を実施しました。				
(主な修繕箇所)				
(1) 鴨川中ポンプ場 (大宮区)				
(2) 東新井ポンプ場 (見沼区)				
(3) 辻流入口 (南区)				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 下水処理センター維持管理事業		当初予算額	300,395,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課	補正予算額	0
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/3目 処理場費	前年度繰越額	0
	資料(当初)P. 18	流用額	0
款/項/目	1款 下水道事業費用/2項 営業外費用/2目 雑支出	予備費充用額	0
<事業の目的・内容> 大宮駅東側の南部処理区(113.0ha)を処理区域とする下水処理センターの管理運営を行います。		予算現額	300,395,000
		決算額	285,040,028
<不用額の理由> 処理水量が当初の想定を下回ったため。		翌年度繰越額	0
		不用額	15,354,972
<主な事業の成果> 1 包括的民間委託業務 223,278,350 下水処理センターの機能を持続的に確保するため、民間事業者による創意工夫やノウハウの活用により、効率的・効果的な維持管理を行うことを目的として、引き続き包括的民間委託を実施しました。 【債務負担行為】 設定期間 平成30年度から令和5年度まで		前年度決算額	276,340,285
		増減	8,699,743
2 施設維持管理 61,656,078 下水処理センターの汚泥処理及び施設修繕(小規模を除く)等を実施しました。		3 放射性物質の測定 105,600 放射性物質汚染対処特措法に基づき、下水処理センターから芝川へ放流する処理水の放射性物質を分析しました。	

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 水質指導事業		当初予算額	37,567,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課	補正予算額	0
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/4目 水質指導費	前年度繰越額	0
	資料(当初)P. 18	流用額	0
<事業の目的・内容> 事業場の排水に対する監視を行い、公共用水域の水質保全を図ります。		予備費充用額	0
		予算現額	37,567,000
<主な事業の成果> 1 事業場水質分析 14,591,193 個別に規制対象事業場等の排水を検査し、基準超過に対し、改善指導を行いました。		決算額	35,684,513
		翌年度繰越額	0
2 流域関連公共下水道水質調査 21,093,320 各処理分区の流域下水道への接続点における排水の水質を調査しました。		不用額	1,882,487
		前年度決算額	35,363,091
		増減	321,422

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 流域下水道維持管理負担金		当初予算額	5,184,741,000	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課	補正予算額	238,140,000	
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/5目 流域下水道維持管理負担金	資料(当初)P. 19	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 埼玉県荒川左岸南部流域下水道及び中川流域下水道の維持管理費に対する負担金を埼玉県に支払います。		概要(2補)P. 50	流用額	△ 86,206,000
			予備費充用額	0
			予算現額	5,336,675,000
			決算額	5,270,436,750
			翌年度繰越額	0
			不用額	66,238,250
			前年度決算額	5,072,746,546
<主な事業の成果> 1 荒川左岸南部流域下水道維持管理負担金 4,778,217,720 埼玉県に対し、荒川左岸南部流域下水道の維持管理負担金を支払いました。		増	減	197,690,204
2 中川流域下水道維持管理負担金 486,493,280 埼玉県に対し、中川流域下水道の維持管理負担金を支払いました。				
3 荒川左岸南部流域下水道特別負担金 5,725,750 荒川左岸南部流域下水道の処理場(荒川水循環センター)がある戸田市に対し、関連4市により費用負担を行いました。				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 普及指導事業		当初予算額	31,339,000	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課	補正予算額	0	
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/6目 普及指導費	資料(当初)P. 19	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 下水道処理区域内の未接続世帯を減少させることにより、公共用水域の水質保全を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	31,339,000
			決算額	29,739,835
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,599,165
			前年度決算額	24,194,788
<主な事業の成果> 1 普及指導事業 26,572,715 公共下水道への接続及び水洗化の促進のため、下水道普及指導員による未接続世帯への戸別訪問等を行いました。		増	減	5,545,047
2 普及指導支援事業 3,167,120 普及啓発活動を効果的に行うため、戸別訪問に係る事前資料の作成及び情報整理を行いました。				



(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 水洗便所改造資金貸付助成事業		当初予算額	6,055,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道総務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/7目 貸付助成事業費	前年度繰越額	0
	資料(当初)P. 20	流用額	0
<事業の目的・内容> 公共下水道処理区域内の既設の便所を水洗便所に改造することに対して工事費用の助成等を行います。		予備費充用額	0
		予算現額	6,055,000
		決算額	5,493,115
		翌年度繰越額	0
		不用額	561,885
		前年度決算額	5,978,758
		増減	△ 485,643
<主な事業の成果> 1 水洗便所改造資金助成業務 2,727,300 水洗便所へ改造するために要する工事費用を助成しました。			
2 水洗便所改造資金貸付業務 2,765,815 水洗便所改造資金貸付管理システムに係る賃借料等を支払いました。			

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 下水道使用料等徴収事業		当初予算額	982,945,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道総務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/8目 業務費	前年度繰越額	0
	資料(当初)P. 20	流用額	10,970,000
款/項/目	1款 下水道事業費用/2項 営業外費用/2目 雑支出	予備費充用額	0
<事業の目的・内容> 公共下水道利用者の汚水排水量に応じて下水道使用料の賦課徴収を行います。 また、下水道使用料及び下水道事業受益者負担金の還付が生じた際に還付金及び還付加算金を支払います。		予算現額	993,915,000
		決算額	988,354,561
		翌年度繰越額	0
		不用額	5,560,439
		前年度決算額	948,842,223
		増減	39,512,338
		<主な事業の成果> 1 下水道使用料徴収委託 970,586,781 水道局で一括徴収した下水道使用料の件数に応じて委託料を支払いました。	
2 下水道使用料徴収事務 6,127,394 水道料金システムに係る賃借料等を支払いました。			
3 下水道使用料等還付金及び還付加算金 11,640,386 賦課の誤り等により、過年度に係る下水道使用料を還付しました。			

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 総務管理事業		当初予算額	53,102,000	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道総務課	補正予算額	△ 15,064,000	
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/9目 総係費	資料(当初)P. 21	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 下水道事業の運営に係る経費を支払います。また、未収債権額に応じて貸倒引当金の計上を行います。		概要(2補)P. 50	流用額	△ 15,000
			予備費充用額	0
<不用額の理由> 総務管理事務において、児童手当の給付対象となる職員が見込みを下回ったため。			予算現額	38,023,000
			決算額	30,636,096
<主な事業の成果> 1 総務管理事務 20,180,833 広報パンフレットの発行や、(公社)日本下水道協会への会費負担金、厚生福利費等を支払いました。			翌年度繰越額	0
			不用額	7,386,904
2 貸倒引当金 10,455,263 下水道使用料等の未収債権額に応じて、貸倒引当金を計上しました。			前年度決算額	35,052,567
			増減	△ 4,416,471

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 財務管理事業		当初予算額	19,782,000	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課	補正予算額	0	
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/9目 総係費	資料(当初)P. 21	前年度繰越額	0
款/項/目	1款 下水道事業費用/2項 営業外費用/2目 雑支出		流用額	15,000
<事業の目的・内容> 下水道事業会計に係る企業会計システムの管理及び予算書の作成等を行います。			予備費充用額	0
			予算現額	19,797,000
<主な事業の成果> 1 企業会計システム管理 11,732,970 下水道事業会計に係る会計処理を適切かつ効率的に行うため、企業会計システムの賃借及び運用保守業務の委託を行いました。			決算額	19,076,929
			翌年度繰越額	0
2 財務管理事務 7,343,959 下水道事業会計に係る予算書、決算書の作成等を行いました。			不用額	720,071
			前年度決算額	17,491,892
			増減	1,585,037

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 減価償却費		当初予算額	13,230,874,000	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課	補正予算額	△ 75,796,000	
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/11目 減価償却費	資料(当初)P. 22	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 取得した資産の時間経過に伴う価値の減少分を計上します。		概要(2補)P. 50	流用額	0
		予備費充用額	0	
		予算現額	13,155,078,000	
		決算額	13,092,653,068	
		翌年度繰越額	0	
		不用額	62,424,932	
		前年度決算額	12,888,977,253	
		増減	203,675,815	
<主な事業の成果> 1 有形固定資産減価償却費 12,055,728,581 管きよ、建物、機械等の有形固定資産に係る減価償却費を計上しました。				
2 無形固定資産減価償却費 1,036,924,487 流域下水道の施設利用権及びソフトウェアの無形固定資産に係る減価償却費を計上しました。				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 資産減耗費 (下水道財務課)		当初予算額	96,020,000	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課	補正予算額	0	
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/12目 資産減耗費	資料(当初)P. 22	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 固定資産の廃棄・撤去を行う際に減価償却が行われていない金額を費用として計上します。		流用額	86,206,000	
		予備費充用額	0	
		予算現額	182,226,000	
		決算額	182,225,089	
		翌年度繰越額	0	
		不用額	911	
		前年度決算額	109,574,879	
		増減	72,650,210	
<主な事業の成果> 1 固定資産除却費 182,225,089 固定資産の廃棄、撤去に伴う固定資産除却費を計上しました。				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 資産減耗費（下水道維持管理課）		当初予算額	16,800,000	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課	補正予算額	△ 16,800,000	
款/項/目	1款 下水道事業費用/1項 営業費用/12目 資産減耗費	資料(当初)P. 23	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 道路整備事業に伴い、不用となった下水道施設の撤去を行います。		概要(2補)P. 50	流用額	0
		予備費充用額	0	
		予算現額	0	
		決算額	0	
		翌年度繰越額	0	
		不用額	0	
		前年度決算額	0	
		増減	0	
<主な事業の成果> 1 固定資産除却費 関連工事を踏まえ、現道交通への影響を最小化するように工程調整を行った結果、予算執行はありませんでした。				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 支払利息		当初予算額	2,582,434,000	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課	補正予算額	△ 46,834,000	
款/項/目	1款 下水道事業費用/2項 営業外費用/1目 支払利息及び企業債取扱諸費	資料(当初)P. 23	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 企業債等の利息を支払います。		概要(2補)P. 50	流用額	△ 10,970,000
		予備費充用額	0	
		予算現額	2,524,630,000	
		決算額	2,501,696,970	
		翌年度繰越額	0	
		不用額	22,933,030	
		前年度決算額	2,743,114,570	
		増減	△ 241,417,600	
<主な事業の成果> 1 企業債利息 2,501,670,098 建設改良工事等のため借り入れた企業債の利息を支払いました。				
2 一時借入金利息 26,872 資金不足を補うため借り入れた一時借入金の利息を支払いました。				

事業名 消費税及び地方消費税		当初予算額	17,466,000	
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課	補正予算額	194,110,000	
款/項/目	1款 下水道事業費用/2項 営業外費用/3目 消費税及び地方消費税	資料(当初)P. 24	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 法令にのっとり、消費税及び地方消費税を納税します。		概要(2補)P. 50	流用額	0
			予備費充用額	0
<不用額の理由> 建設改良費に伴う仮払消費税が、補正時の見込みより多かつたため。			予算現額	211,576,000
			決算額	112,445,500
<主な事業の成果> 1 消費税及び地方消費税 112,445,500 法令にのっとり、期中の消費税及び地方消費税を支払いました。			翌年度繰越額	0
			不用額	99,130,500
			前年度決算額	97,025,900
			増減	15,419,600

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 総務管理事業			当初予算額	856,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道総務課		補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/1目 管きよ費	資料(当初)P. 25	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 資本勘定支弁職員の厚生福利費を支払います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	856,000
			決算額	518,535
			翌年度繰越額	0
			不用額	337,465
			前年度決算額	613,132
増	減		△ 94,597	
<主な事業の成果> 1 厚生福利費 518,535 資本勘定支弁職員の厚生福利費を支払いました。				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 管きよ整備事業(下水道維持管理課)			当初予算額	885,193,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課		補正予算額	△ 18,745,000
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/1目 管きよ費	資料(当初)P. 25	前年度繰越額	5,753,000
<事業の目的・内容> 概要(2補)P. 51 供用開始済み区域における公共下水道利用者の拡大を目的として、取付管の新設工事を行います。 また、下水道施設の安全対策として、マンホール蓋の更新工事を行います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	872,201,000
			決算額	851,573,929
			翌年度繰越額	0
			不用額	20,627,071
			前年度決算額	875,675,940
増	減		△ 24,102,011	
<主な事業の成果> 1 取付管新設工事 578,329,856 公共下水道利用予定者からの申請に基づき、取付管の新設工事等を行いました。 (主な工事箇所) (1) 荒川第2処理分区(西区西大宮地内) (2) 浦和第1、第2処理分区(緑区美園地内)				
3 下水道管きよ調査業務 172,620,030 下水道の管きよの破損による道路の陥没事故を未然に防ぐため、管きよ内のカメラ調査を実施しました。				
2 マンホール蓋更新事業 100,624,043 マンホール蓋の安全対策として、古いマンホール蓋を浮上飛散防止機能付のさいたま市型マンホール蓋に交換しました。 ・実施箇所：327か所				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 管きよ整備事業 (下水道計画課)			当初予算額	9,767,850,000
局/部/課 建設局/下水道部/下水道計画課			補正予算額	△ 1,016,000,000
款/項/目 1款 資本的支出/1項 建設改良費/1目 管きよ費		資料(当初)P. 26	前年度繰越額	5,781,536,000
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 概要(12補)P. 36 概要(2補)P. 51 概要(2補追)P. 31 生活環境の改善や公共用水域の水質の保全、近年多発する集中豪雨等による浸水被害の軽減、施設の老朽化及び地震対策等を目的として、下水道管きよ整備を計画的に実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	14,533,386,000
			決算額	8,561,702,062
			翌年度繰越額	5,643,959,700
			不用額	327,724,238
			前年度決算額	9,698,946,563
増 減			△ 1,137,244,501	
<b>&lt;主な事業の成果&gt;</b>				
1 下水道汚水事業	3,231,635,743	3 下水道施設老朽化対策事業(管きよ)	2,778,405,545	
さいたま市生活排水処理基本計画で定めた合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の汚水整備を実施しました。 (主な工事箇所) 西区、見沼区、緑区、岩槻区		緊急輸送道路下の重要な幹線等について耐震化を進めるとともに、老朽化した下水道管について、予防保全の観点から計画的な改築を実施しました。 (主な工事箇所) (1) 北区吉野町、中央区下落合(耐震工事) (2) 浦和区常盤、南区辻(改築工事)		
2 下水道浸水対策事業	2,506,273,769	4 管きよ改良事業	20,834,000	
浸水被害の軽減を目的とした雨水貯留施設及び雨水管の整備を推進するとともに、新たに浸水シミュレーションを活用した内水ハザードマップを作成しました。 (主な工事箇所) 大宮区北袋町、浦和区前地、岩槻区美幸町		道路事業に伴う管きよの移設等を実施しました。		
		5 建設改良共通事業	24,553,005	
		下水道整備を推進するための一般事務費を支出しました。		

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 ポンプ場整備事業 (下水道維持管理課)			当初予算額	86,097,000
局/部/課 建設局/下水道部/下水道維持管理課			補正予算額	0
款/項/目 1款 資本的支出/1項 建設改良費/2目 ポンプ場費		資料(当初)P. 26	前年度繰越額	45,007,600
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 下水道の機能を保持することを目的に、ポンプ場等の設備を計画的に更新します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	131,104,600
			決算額	51,755,440
			翌年度繰越額	73,912,000
			不用額	5,437,160
			前年度決算額	0
増 減			51,755,440	
<b>&lt;主な事業の成果&gt;</b>				
1 ポンプ場等更新事業	51,755,440			
ポンプ場等の設備の更新工事等を実施しました。 (主な更新箇所) (1) 公園ポンプ場(大宮区) (2) 宮原1Aマンホールポンプ(北区) (3) 大門ポンプ場(緑区)				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 <b>ポンプ場整備事業（下水道計画課）</b>			当初予算額	953,500,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道計画課		補正予算額	△ 297,000,000
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/2目 ポンプ場費	資料(当初)P. 27	前年度繰越額	722,480,000
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> ポンプ場の耐震化及び経年劣化により老朽化が進行した機械、電気設備等の改築を計画的に実施します。		概要(2補)P. 51	流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,378,980,000
			決算額	1,183,337,000
			翌年度繰越額	162,987,000
			不用額	32,656,000
			前年度決算額	853,571,000
			増減	329,766,000
<b>&lt;主な事業の成果&gt;</b>				
1 下水道施設老朽化対策事業（ポンプ場） 1,183,337,000				
ポンプ場の耐震化及び改築を実施しました。				
（主な工事箇所）				
（1）岩槻第1ポンプ場（岩槻区）				
（2）宮原ポンプ場（北区）				
（3）大門ポンプ場（緑区）				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 <b>下水処理センター整備事業（下水道維持管理課）</b>			当初予算額	13,970,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道維持管理課		補正予算額	△ 1,100,000
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/3目 処理場費	資料(当初)P. 27	前年度繰越額	0
<b>&lt;事業の目的・内容&gt;</b> 大宮駅東側の南部処理区（113.0ha）を処理区域とする下水処理センターの管理運営を行います。		概要(2補)P. 51	流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	12,870,000
			決算額	12,870,000
			翌年度繰越額	0
			不用額	0
			前年度決算額	12,100,000
			増減	770,000
<b>&lt;主な事業の成果&gt;</b>				
1 汚泥処理施設更新事業 12,870,000				
施設の機能を維持するため、消化槽内の汚泥を攪拌する設備を更新しました。				



(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 下水処理センター整備事業（下水道計画課）			当初予算額	71,000,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道計画課		補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/3目 処理場費	資料(当初)P. 28	前年度繰越額	75,480,000
<事業の目的・内容> 下水処理センターの耐震化及び経年劣化により老朽化が進行した機械、電気設備等の改築を計画的に実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	146,480,000
			決算額	75,480,000
			翌年度繰越額	71,000,000
			不用額	0
			前年度決算額	0
			増減	75,480,000
<主な事業の成果> 1 下水道施設老朽化対策事業（処理場） 75,480,000 下水処理センターの耐震化及び改築の設計を実施しました。				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 流域下水道建設費負担金			当初予算額	1,080,000,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課		補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/4目 流域下水道建設費負担金	資料(当初)P. 28	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 埼玉県荒川左岸南部流域下水道及び中川流域下水道の建設費に対する負担金を埼玉県に支払います。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	1,080,000,000
			決算額	1,022,307,655
			翌年度繰越額	0
			不用額	57,692,345
			前年度決算額	800,636,966
			増減	221,670,689
<不用額の理由> 埼玉県の流域下水道施設建設費において契約差金等が生じたため。				
<主な事業の成果> 1 荒川左岸南部流域下水道建設費負担金 921,764,693 埼玉県に対し、荒川左岸南部流域下水道施設整備等に係る建設費負担金（本市負担割合55.52%）を支払いました。				
2 中川流域下水道建設費負担金 100,542,962 埼玉県に対し、中川流域下水道施設整備等に係る建設費負担金（本市負担割合8.01%）を支払いました。				

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 受益者負担金徴収事業		当初予算額	61,411,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道総務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/5目 受益者負担金徴収費	前年度繰越額	0
資料(当初)P. 29		流用額	0
		予備費充用額	0
<事業の目的・内容> 新規に下水道が供用開始された地域の方を対象に、下水道事業受益者負担金の賦課徴収を行います。		予算現額	61,411,000
		決算額	54,840,980
<不用額の理由> 受益者負担金徴収事務において、賦課対象が当初の見込みを下回り、支出が減少したため。		翌年度繰越額	0
		不用額	6,570,020
<主な事業の成果> 1 受益者負担金報奨金 31,278,280 受益者負担金を納期前納付された方に対し、その期数に応じて報奨金を交付しました。		前年度決算額	60,864,594
		増減	△ 6,023,614
2 受益者負担金徴収事務 23,562,700 受益者負担金徴収に係る賦課用公図・パンフレットの作成及び納付書の発送等を行いました。			

(下水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 企業債償還金		当初予算額	11,957,289,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道財務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/2項 企業債償還金/1目 企業債償還金	前年度繰越額	0
資料(当初)P. 29		流用額	0
		予備費充用額	0
<事業の目的・内容> 企業債の元金償還を行います。		予算現額	11,957,289,000
		決算額	11,957,287,047
<主な事業の成果> 1 企業債償還金 11,957,287,047 建設改良工事等のため借り入れた企業債の元金償還を行いました。		翌年度繰越額	0
		不用額	1,953
		前年度決算額	12,075,971,001
		増減	△ 118,683,954

事業名 水洗便所改造資金貸付事業		当初予算額	5,250,000
局/部/課	建設局/下水道部/下水道総務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/3項 長期貸付金/1目 水洗便所改造資金貸付金	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 公共下水道処理区域内の既設の便所を水洗便所に改造することに対して工事費用を貸付します。		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	5,250,000
		決算額	4,090,000
		翌年度繰越額	0
		不用額	1,160,000
		前年度決算額	3,970,000
<主な事業の成果> 1 水洗便所改造資金貸付金 4,090,000 水洗便所へ改造するために要する工事費が、自己資金のみでは不足する方に、その費用を貸付しました。		増減	120,000



# 水道事業会計



## (水道事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 水道事業収益/1項 営業収益/3目 給水収益	当初予算額 29,843,662,000
収入名称 <b>水道料</b>	補正予算額 0
局/部/課 水道局/業務部/営業課	繰越財源充当額 0
<主な成果> 給水収益は29,647,184,944円となりました。	予算現額 29,843,662,000
	決算額 29,647,184,944
	前年度決算額 29,119,877,851
	増 減 527,307,093

## (水道事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 水道事業収益/1項 営業収益/3目 その他営業収益	当初予算額 1,362,165,000
収入名称 <b>分担金</b>	補正予算額 0
局/部/課 水道局/業務部/給水工事課	繰越財源充当額 0
<主な成果> 給水装置の新設工事及び増径となる改造工事の申込者より、水道メーター口径に応じて分担金を徴収しました。	予算現額 1,362,165,000
	決算額 1,024,445,189
	前年度決算額 1,174,639,600
	増 減 △ 150,194,411

## (水道事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 資本的収入/1項 企業債/1目 企業債	当初予算額 3,126,000,000
収入名称 <b>企業債</b>	補正予算額 0
局/部/課 水道局/業務部/水道財務課	繰越財源充当額 0
<主な成果> 水道施設の整備事業に係る財源として、市中金融機関から資金の借入れを行いました。	予算現額 3,126,000,000
	決算額 3,126,000,000
	前年度決算額 1,246,000,000
	増 減 1,880,000,000

## (水道事業会計・収入)

(単位：円)

款/項/目 1款 資本的収入/3項 補助金/1目 補助金	当初予算額 71,320,000
収入名称 <b>補助金</b>	補正予算額 0
局/部/課 水道局/給水部/水道計画課	繰越財源充当額 0
<主な成果> 県補助金（生活基盤施設耐震化等補助金）として、80,937,000円が交付されました。	予算現額 71,320,000
	決算額 80,937,000
	前年度決算額 7,947,000
	増 減 72,990,000

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 総務事務事業		当初予算額	281,394,000
局/部/課	水道局/業務部/水道総務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/6目 総係費等 資料(当初)P. 33	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 地震等の災害に備え、災害対策を実施するほか、水道だより等を通じて市民に水道事業の情報提供を行います。また、水道局全体の総合調整や、ますます高度化・多様化する市民ニーズに応えるため、職員に対して研修による人材育成に努めます。		流用額	△ 14,376,000
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 広報宣伝費において、濁水に伴う対応業務がなかったこと、また、修繕費などにおいて契約差金が生じたため。		予算現額	267,018,000
		決算額	208,981,120
<主な事業の成果>		翌年度繰越額	0
		不用額	58,036,880
1 震災対策業務 121,655,834 水道事業に係る地震等の災害対策として、職員研修、訓練、災害対策に係る調査検討、災害用資機材の管理並びに応急給水施設の維持管理を行いました。		前年度決算額	216,738,755
		増減	△ 7,757,635
2 水道局広報広聴業務 30,127,256 水道だより「水と生活」やホームページを通じて、市民に業務内容、水質情報、財務状況などの情報提供や感染症予防の啓発を行ったほか、公民館講座を実施し、水道教室における資料提供を行いました。		4 労務管理事務 36,046,490 水道局職員の人事、給与支給、被服貸与、福利厚生、安全衛生及び計画的な研修実施に関する事務を行いました。	
3 業務管理事務 21,151,540 水道庁舎における夜間・休日の庁舎管理業務委託及び文書管理に係る局内の総合調整を行いました。			

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 経営企画事務事業		当初予算額	383,670,000
局/部/課	水道局/業務部/経営企画課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/6目 総係費 資料(当初)P. 33	前年度繰越額	67,749,744
<事業の目的・内容> 重要施策の総合調整、経営基盤の強化及び健全経営の推進に取り組みます。		流用額	6,000
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 旧水道第1庁舎解体工事の遅れにより、当該工事に伴う地盤変動影響事後調査業務が令和3年度に延期になったため。		予算現額	451,425,744
		決算額	411,095,568
<主な事業の成果>		翌年度繰越額	0
		不用額	40,330,176
1 経営企画事務 244,607,359 関係部署との調整を行い、事業経営に係る重要施策を推進するとともに、旧水道第1庁舎解体工事等を行いました。		4 環境対策事務 98,142 環境に配慮したやさしい水道事業を推進し、環境会計の作成・公表、局内環境研修等を行いました。	
2 水道局システム管理事務 166,147,371 水道局基幹系システム等の安定稼働を確保するため、システム環境の整備や水道局ネットワークの管理、情報セキュリティ対策等を行いました。			
3 国際貢献等推進業務 242,696 水道局で培った経験や技術力を広く海外で生かすため、ラオスへの技術支援を行うとともに、両国の人材育成を図りました。			
		前年度決算額	257,631,385
		増減	153,464,183



(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 財務事業		当初予算額	18,011,000
局/部/課	水道局/業務部/水道財務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/6目 総係費等	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 予算編成・執行管理事務や、出納・決算事務により、水道事業の健全な財政運営を行うとともに、予算書、決算書及び各種資料の作成を行います。		流用額	△ 619,000
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 公金の集金業務委託において契約差金が生じたため。		予算現額	17,392,000
		決算額	14,609,114
<主な事業の成果> 1 予算及び出納管理事務 14,609,114 水道事業の健全な財政運営のため、予算の編成・執行管理、出納や決算等にかかる事務を行いました。また、客観的な視点から水道事業の現状や長期的な財務分析等を実施しました。		翌年度繰越額	0
		不用額	2,782,886
		前年度決算額	11,069,050
		増減	3,540,064

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 支払利息		当初予算額	860,405,000
局/部/課	水道局/業務部/水道財務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/2項 営業外費用/1目 支払利息及び企業債取扱諸費	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 建設改良工事のために借り入れた企業債の利息を支払います。		流用額	△ 5,962,000
		予備費充用額	0
<主な事業の成果> 1 企業債利息 854,441,356 建設改良工事のために借り入れた企業債の利息を支払いました。		予算現額	854,443,000
		決算額	854,441,356
		翌年度繰越額	0
		不用額	1,644
		前年度決算額	975,192,699
		増減	△ 120,751,343

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 消費税及び地方消費税		当初予算額	269,130,000
局/部/課	水道局/業務部/水道財務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/2項 営業外費用/3目 消費税及び地方消費税	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 法令にのっとり、消費税及び地方消費税を納税します。		流用額	243,283,000
		予備費充用額	0
		予算現額	512,413,000
		決算額	512,412,300
		翌年度繰越額	0
		不用額	700
		前年度決算額	447,745,300
		増減	64,667,000
<主な事業の成果> 1 消費税及び地方消費税 512,412,300 法令にのっとり、期中の納税計算による消費税及び地方消費税を支出しました。			

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 財産管理事業		当初予算額	117,359,000
局/部/課	水道局/業務部/管財課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/6目 総係費等	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 財産管理事務と水道局自動車管理事務を適正に行い、効率的な財産の運用を図ります。		流用額	68,000
		予備費充用額	0
		予算現額	117,427,000
		決算額	103,852,739
		翌年度繰越額	0
		不用額	13,574,261
		前年度決算額	94,344,779
<不用額の理由> 委託料等において入札による契約差金が生じたため。		増減	9,507,960
<主な事業の成果> 1 財産管理事務 96,114,051 庁舎及び市民開放施設の管理業務委託、修繕等を行い、適正な財産管理に努めました。			
2 水道局自動車管理事務 7,738,688 次世代自動車の導入を推進し、公用車の維持管理を行いました。			

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 減価償却費		当初予算額	8,528,625,000
局/部/課	水道局/業務部/管財課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/3目 配給水費等 資料(当初)P. 36	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 償却資産について、耐用年数に応じて当該資産価値の減耗分を費用化するための減価償却費を計上します。		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	8,528,625,000
		決算額	8,462,521,059
		翌年度繰越額	0
		不用額	66,103,941
		前年度決算額	8,413,750,475
		増減	48,770,584
<主な事業の成果> 1 減価償却費 8,379,601,327 償却資産（リース資産を除く。）に対して、減価償却を行いました。			
2 リース資産減価償却費 82,919,732 ファイナンスリースに係るリース資産に対して、リース料相当分の減価償却を行いました。			

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 営業事務事業		当初予算額	1,596,609,000
局/部/課	水道局/業務部/営業課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/5目 業務費等 資料(当初)P. 36	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 水道事業の財源である水道料金収入を確保するため、各戸を訪問して水道メーターの検針を行い、使用水量に応じた水道料金の調定及び徴収を適正に執行します。		流用額	△ 575,000
		予備費充用額	0
		予算現額	1,596,034,000
		決算額	1,512,053,921
		翌年度繰越額	0
		不用額	83,980,079
		前年度決算額	1,299,554,956
		増減	212,498,965
<主な事業の成果> 1 電話受付センターの運営事務 172,187,318 水道局電話受付センターの電話受付業務等の適切な管理運営を行いました。			
2 営業管理事務 229,866,088 営業所における庁舎清掃、植木剪定、修繕等の適切な維持管理を行いました。			
3 水道料金徴収事務 570,594,649 お客様が納付しやすい制度を維持しつつ、水道料金未納整理等業務を通して水道料金の未納率が上がらないよう適切な徴収を行いました。			
		4 計量事務 539,405,866 水道メーター検針事務等を行い、遅滞なく正確に水道使用量の計量を行いました。	

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 給水装置管理事業（給水装置課）		当初予算額	597,401,000
局/部/課	水道局/業務部/給水装置課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/3目 配給水費等 資料(当初)P. 37	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 給水装置工事に係る構造材質基準の管理及び指定給水装置工事事業者への情報提供を実施し、安全な水の供給に取り組みます。 また、給水装置に係る法令や条例を適正に管理するほか、小中学校の貯水槽の滞留水を解消し、水道水のおいしさを実感する取組を実施します。		流用額	0
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 小中学校飲用水直結化推進業務の貯水槽式から直結式に切り替える事業が延期となったこと及び水道メーターの検定満期に伴う修繕件数が少なかったため。		予算現額	597,401,000
		決算額	261,375,990
<主な事業の成果> 1 小中学校飲用水直結化推進業務 123,750 小中学校において、一部の飲用水の給水方式を貯水槽式から直結式に切り替える事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による小中学校の夏季休業期間の短縮に伴い令和3年度へ延期としました。 2 逆流防止弁付水道メーターパッキン交換業務 29,563,621 給水管の新設、改造に伴う水道メーターの設置時及び既設管における検定満期、故障等に伴う水道メーター取替え時において、水道本管への逆流事故を防止するため逆流防止弁付水道メーターパッキンを設置しました。 3 貯水槽水道管理啓発業務 30,092,337 貯水槽の適正管理に努めていただくよう、設置者に対し、啓発文書を送付しました。 また、水道法の規制のない10立方メートル以下の小規模貯水槽水道の訪問点検を実施しました。		翌年度繰越額	0
		不用額	336,025,010
4 メーター設置・管理事務 190,467,642 購入した水道メーターの出納管理、交換等により引き上げた古水道メーターの除却、貯蔵水道メーターのたな卸を行いました。 5 給水装置管理事務（給水装置課） 3,188,563 給水装置工事における指定給水装置工事事業者制度の適正な運用、給水装置の構造材質に係る事務を行いました。 6 社会福祉就労支援事務 7,940,077 水道メーターの交換により引き上げた古水道メーターを金属と産業廃棄物に分類する事業を授産施設に委託し障害のある方へ就労の機会を提供しました。		前年度決算額	449,060,963
		増減	△ 187,684,973

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 給水装置管理事業（給水工事課）		当初予算額	47,536,000
局/部/課	水道局/業務部/給水工事課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/3目 配給水費等 資料(当初)P. 37	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 給水装置の新設、改造等における給水装置工事の適正な施工を確保するため、関連する法令に基づき審査業務及び検査業務を行います。		流用額	0
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 修繕費において、対象工事がなかったこと、及びその他委託料において契約差金が生じたため。		予算現額	47,536,000
		決算額	43,405,816
<主な事業の成果> 1 給水装置管理事務（給水工事課） 43,405,816 安全で良質な水を安定的に供給するため、給水装置工事における審査業務及び検査業務を適正かつ円滑に行いました。		翌年度繰越額	0
		不用額	4,130,184
2 給水装置管理事務（給水装置課） 3,188,563 給水装置工事における指定給水装置工事事業者制度の適正な運用、給水装置の構造材質に係る事務を行いました。		前年度決算額	40,345,145
		増減	3,060,671

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 施設整備事業		当初予算額	656,678,000																																																															
局/部/課	水道局/給水部/水道計画課	補正予算額	0																																																															
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/3目 配給水費等	前年度繰越額	77,510,110																																																															
<事業の目的・内容> 安全・安心な水道水を安定して供給していくため、水道施設の計画的な更新・改良を進めるとともに、地震等の災害に対しても信頼性の高い強靱な水道を構築します。		流用額	0																																																															
		予備費充用額	0																																																															
<不用額の理由> 調査・基本計画等委託業務費において契約差金が生じたため。 また、請負工事の繰越に伴い固定資産除却費に不用額が生じたため。		予算現額	734,188,110																																																															
		決算額	445,012,353																																																															
<主な事業の成果> 1 施設工事に係る固定資産除却業務 267,594,977 水道施設の計画的な更新・改良を図るため実施した施設工事に伴う固定資産の除却を行いました。		翌年度繰越額	31,768,000																																																															
		不用額	257,407,757																																																															
2 施設工事に係る調査・基本計画等委託業務 177,417,376 水道施設の計画的な更新・改良・耐震化を実施するため、事前調査・基本計画等を行いました。		前年度決算額	796,808,548																																																															
		増減	△ 351,796,195																																																															
[参考] 主な事業費内訳 (単位：円)																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施設工事に係る固定資産除却</th> <th>267,594,977</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">施設整備事業に伴う配水管等撤去</td> <td>75,814,510</td> </tr> <tr> <td>配水ブロックの整備</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>耐震化の推進</td> <td></td> <td>75,814,510</td> </tr> <tr> <td colspan="2">水道施設等更新に伴う固定資産減耗除却</td> <td>191,780,467</td> </tr> <tr> <td>地下水源の整備</td> <td></td> <td>4,519,208</td> </tr> <tr> <td>拠点施設の整備</td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>配水ブロックの整備</td> <td></td> <td>24,481,090</td> </tr> <tr> <td>老朽管の更新</td> <td></td> <td>162,780,169</td> </tr> </tbody> </table>		施設工事に係る固定資産除却		267,594,977	施設整備事業に伴う配水管等撤去		75,814,510	配水ブロックの整備		0	耐震化の推進		75,814,510	水道施設等更新に伴う固定資産減耗除却		191,780,467	地下水源の整備		4,519,208	拠点施設の整備		0	配水ブロックの整備		24,481,090	老朽管の更新		162,780,169	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">施設工事に係る調査・基本計画等委託業務</th> <th>173,797,418</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下水源の整備</td> <td></td> <td>33,798,600</td> </tr> <tr> <td>拠点施設の整備</td> <td></td> <td>41,840,318</td> </tr> <tr> <td>配水ブロックの整備</td> <td></td> <td>8,140,000</td> </tr> <tr> <td>老朽管の更新</td> <td></td> <td>49,868,500</td> </tr> <tr> <td>耐震化の推進</td> <td></td> <td>40,150,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">土地賃借料等</td> <td>3,619,958</td> </tr> <tr> <td>拠点施設の整備</td> <td></td> <td>139,920</td> </tr> <tr> <td>老朽管の更新</td> <td></td> <td>460,609</td> </tr> <tr> <td>耐震化の推進</td> <td></td> <td>622,309</td> </tr> <tr> <td>施設整備事業推進業務</td> <td></td> <td>2,397,120</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>177,417,376</td> </tr> </tbody> </table>		施設工事に係る調査・基本計画等委託業務		173,797,418	地下水源の整備		33,798,600	拠点施設の整備		41,840,318	配水ブロックの整備		8,140,000	老朽管の更新		49,868,500	耐震化の推進		40,150,000	土地賃借料等		3,619,958	拠点施設の整備		139,920	老朽管の更新		460,609	耐震化の推進		622,309	施設整備事業推進業務		2,397,120	計		177,417,376
施設工事に係る固定資産除却		267,594,977																																																																
施設整備事業に伴う配水管等撤去		75,814,510																																																																
配水ブロックの整備		0																																																																
耐震化の推進		75,814,510																																																																
水道施設等更新に伴う固定資産減耗除却		191,780,467																																																																
地下水源の整備		4,519,208																																																																
拠点施設の整備		0																																																																
配水ブロックの整備		24,481,090																																																																
老朽管の更新		162,780,169																																																																
施設工事に係る調査・基本計画等委託業務		173,797,418																																																																
地下水源の整備		33,798,600																																																																
拠点施設の整備		41,840,318																																																																
配水ブロックの整備		8,140,000																																																																
老朽管の更新		49,868,500																																																																
耐震化の推進		40,150,000																																																																
土地賃借料等		3,619,958																																																																
拠点施設の整備		139,920																																																																
老朽管の更新		460,609																																																																
耐震化の推進		622,309																																																																
施設整備事業推進業務		2,397,120																																																																
計		177,417,376																																																																

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 施設整備事務事業 (北部水道建設課)		当初予算額	1,980,000
局/部/課	水道局/給水部/北部水道建設課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/3目 配給水費	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 水道施設整備事業(水道管布設等)の建設工事に使用する設計・積算システムの管理業務、工事現場の技術基準・監理体制を維持するための技術管理全般の業務を実施します。なお、当課では水道計画課からの依頼による建設工事の設計、積算、工事監理、精算業務を実施します。		流用額	90,000
		予備費充用額	0
<主な事業の成果> 1 施設整備推進業務(北部水道建設課) 724,826 水道施設整備事業(水道管布設等)の建設工事に係る原状回復に要する費用8件を補償しました。		予算現額	2,070,000
		決算額	724,826
		翌年度繰越額	0
		不用額	1,345,174
		前年度決算額	855,321
		増減	△ 130,495

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 施設整備事務事業 (南部水道建設課)		当初予算額	2,003,000	
局/部/課	水道局/給水部/南部水道建設課	補正予算額	0	
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/3目 配給水費等 資料(当初)P. 39	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 水道計画課からの依頼による水道施設整備事業(水道管布設等)の建設工事及び、他の所管からの依頼による改修工事等の設計、積算、工事監理、精算業務を実施します。		流用額	1,000	
		予備費充用額	0	
		予算現額	2,004,000	
		決算額	835,724	
		翌年度繰越額	0	
		不用額	1,168,276	
		前年度決算額	91,978	
<主な事業の成果> 1 施設整備推進業務(南部水道建設課) 835,724 水道施設整備事業(水道管布設等)の建設工事に係る 原状回復に要する費用7件を補償しました。		増	減	743,746

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 配水管維持管理事業		当初予算額	1,073,250,000	
局/部/課	水道局/給水部/維持管理課	補正予算額	0	
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/3目 配給水費 資料(当初)P. 39	前年度繰越額	0	
<事業の目的・内容> 配水管等の適切な管路の移設、付帯設備の機能維持に係る点検、水道管路情報管理システムの運用、管理等を実施します。 また、配水管内の水質劣化防止や漏水調査を計画的に実施します。		流用額	△ 103,949,000	
		予備費充用額	0	
		予算現額	969,301,000	
		決算額	950,561,171	
		翌年度繰越額	0	
		不用額	18,739,829	
		前年度決算額	896,865,033	
<主な事業の成果> 1 配水管管理業務 764,876,169 配水管路全般の維持管理、付帯設備の機能維持に係る 点検、水道管路情報管理システムの管理等を実施しまし ました。 2 配水管内水質劣化防止業務 28,005,230 配水管内の洗浄作業等を計画的、効率的に実施し、水 道水質の劣化を防止しました。 3 漏水調査業務 157,679,772 漏水調査を実施し、漏水を早期に発見することによ り、有効率を高いレベルで維持し健全な事業経営を行 いました。		増	減	53,696,138

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 配給水管修繕事業		当初予算額	1,496,827,000
局/部/課	水道局/給水部/工務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/3目 配給水費等 資料(当初)P. 40	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 迅速かつ円滑に漏水修繕を行うことにより、安定した水道水の供給を図ります。		流用額	56,000
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 給水装置修繕において、発生件数が想定していた件数を下回ったため。		予算現額	1,496,883,000
		決算額	1,334,957,844
<主な事業の成果> 1 配給水管修繕業務 1,334,957,844 迅速な漏水修繕により、二次災害を未然に防止し、水道施設の健全な管理運営及び安定給水の確保を図りました。		翌年度繰越額	0
		不用額	161,925,156
		前年度決算額	1,294,219,854
		増減	40,737,990

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 配水管理事業		当初予算額	10,003,189,000
局/部/課	水道局/給水部/配水課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/1目 水源費等 資料(当初)P. 40	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> いつでも安全で良質な水を、必要な量、安定して供給するため、水道の基幹施設である浄配水場の施設・設備の維持管理を計画的、効率的かつ効果的に実施し、適切な運転管理を行います。		流用額	△ 117,942,000
		予備費充用額	0
<主な事業の成果> 1 水質監視整備業務 45,133,000 浄配水場や配水管路に設置している水質監視システム等の監視装置を、常に正常な状態で運用できるよう保守点検を実施し、水質管理の徹底を行いました。		予算現額	9,885,247,000
		決算額	9,517,633,339
2 配水管理運営業務 9,221,917,591 埼玉県営水道からの浄水受水と深井戸からの地下水揚水を水源として、必要な量の水を効率的で安定した給水を行うため、浄配水場施設の保守・維持管理を行いました。 [受水費 8,150,795,938円]		翌年度繰越額	0
		不用額	367,613,661
3 地下水浄水業務 206,119,990 清浄で安定した貴重な自己水源である地下水を常時有効利用するため、設備機器等の維持管理を行うとともに、水源を清浄に保つため浄配水場及び用地の維持管理を行いました。		前年度決算額	9,477,408,589
		増減	40,224,750
4 浄配水設備改良業務 44,462,758 浄配水場のポンプや電機設備など、老朽化した設備の計画的、効率的かつ効果的な改良・更新に伴う固定資産の除却を行いました。			

事業名 水質管理事業		当初予算額	362,508,000
局/部/課	水道局/給水部/水質管理課	補正予算額	0
款/項/目	1款 水道事業費用/1項 営業費用/2目 配水費等 資料(当初)P. 41	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 水道水の水質検査は、直接口にする水の安全性を確認するためのものであり、安全な水道水の供給の基礎となり、その結果には高い信頼性が求められます。法令で定められている水質基準項目を始めとして、水道水の水質管理に必要な項目等の水質検査、お客様からの請求検査などを行います。		流用額	△ 81,000
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 修繕費について、屋上防水改修修繕の見合わせに加え、入札による契約差金が生じたため。		予算現額	362,427,000
		決算額	165,098,596
<主な事業の成果> 1 水質検査業務 88,968,392 法令で定められている水質基準項目を始めとして、水道水の水質管理に必要な項目等の水質検査、お客様からの請求検査などを行いました。		翌年度繰越額	88,803,000
		不用額	108,525,404
2 水質検査信頼性向上業務 283,302 水質検査の技術力向上や精度と信頼性を確保するため、認定取得した水道G L P (水道水質検査優良試験所規範)について、認定を維持しました。		前年度決算額	132,992,456
		増減	32,106,140
3 水道総合センター庁舎管理業務 75,846,902 光熱水費の支払等、水道総合センターの維持・管理上必要な業務を行いました。			



(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 総務事務事業		当初予算額	130,021,000
局/部/課	水道局/業務部/水道総務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/1目 施設整備費等 資料(当初)P. 42	前年度繰越額	244,205,577
<事業の目的・内容> 地震等の災害に備え、災害対策を実施します。また、職員の福利厚生に関する事業を行います。		流用額	1,056,000
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 施設工事費において、入札による契約差金が生じたため。		予算現額	375,282,577
		決算額	257,508,972
<主な事業の成果> 1 震災対策業務 256,166,977 非常災害用井戸及び浄・配水場応急給水施設の整備を行いました。		翌年度繰越額	83,640,315
		不用額	34,133,290
2 労務管理事務 1,341,995 職員への被服貸与、福利厚生に関する事務を行いました。		前年度決算額	157,055,501
		増減	100,453,471

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 経営企画事務事業		当初予算額	67,438,000
局/部/課	水道局/業務部/経営企画課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/1目 施設整備費等 資料(当初)P. 42	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 重要施策の総合調整、経営基盤の強化及び健全経営の推進に取り組みます。		流用額	22,520,000
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 旧水道第1庁舎解体工事の遅れにより、北浦和浄水場外構工事完了が令和3年度内になるため。		予算現額	89,958,000
		決算額	15,273,231
<主な事業の成果> 1 経営企画事務 1,008,763 旧水道第1庁舎解体工事に伴い、北浦和浄水場の外構工事を行いました。(令和3年度まで)		翌年度繰越額	66,363,000
		不用額	8,321,769
2 水道局システム管理事務 14,264,468 水道局基幹系システム等の安定稼働を確保するため、システム環境の整備を行いました。		前年度決算額	14,125,428
		増減	1,147,803

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 企業債償還金		当初予算額	4,732,589,000
局/部/課	水道局/業務部/水道財務課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/2項 償還金/1目 償還金	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 建設改良工事のために借り入れた企業債の元金償還を行います。		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	4,732,589,000
		決算額	4,731,995,424
		翌年度繰越額	0
		不用額	593,576
		前年度決算額	4,740,034,960
		増減	△ 8,039,536
<主な事業の成果> 1 企業債償還金 4,731,995,424 建設改良工事のために借り入れた企業債の元金償還を行いました。			

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 財産管理事業		当初予算額	4,797,000
局/部/課	水道局/業務部/管財課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/1目 施設整備費等	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 財産管理事務と水道局自動車管理事務を適正に行い、効率的な財産の運用を図ります。		流用額	648,000
		予備費充用額	0
		予算現額	5,445,000
		決算額	5,150,052
		翌年度繰越額	0
		不用額	294,948
		前年度決算額	6,659,116
		増減	△ 1,509,064
<主な事業の成果> 1 財産管理事務 3,452,680 市民開放施設管理棟改修工事実施設計等を行い、適正な財産管理に努めました。  2 水道局自動車管理事務 1,697,372 公用車の維持管理を行いました。			

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 営業事務事業		当初予算額	75,970,000
局/部/課	水道局/業務部/営業課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/2目 設備改良費 資料(当初)P. 44	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 水道事業の財源である水道料金収入を確保するため、各戸を訪問して水道メーターの検針を行い、使用水量に応じた水道料金の調定及び徴収を適正に執行します。		流用額	△ 403,000
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 北部水道営業所改修工事のうち、一部を行わなかったため。		予算現額	75,567,000
		決算額	36,624,980
<主な事業の成果> 1 電話受付センターの運営事務 11,681,380; 4 計量事務 712,800 水道局統合型構内電話交換機等賃借を行いました。 検針時に記録したデータについて一元的に管理を行い、効率的な実務運用を図るため水道料金システムの改修を行いました。		翌年度繰越額	0
		不用額	38,942,020
2 営業管理事務 21,018,800 北部水道営業所の改修工事を行いました。		前年度決算額	24,901,280
		増減	11,723,700
3 水道料金徴収事務 3,212,000 より細かな還付未済の管理と、効率的な実務運用を図るため水道料金システムの改修を行いました。			

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 給水装置管理事業 (給水装置課)		当初予算額	697,982,000
局/部/課	水道局/業務部/給水装置課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/1目 施設整備費等 資料(当初)P. 44	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 新設、改造、検定満期等に必要な水道メーターの管理を行い、計量法に基づく、正確な計量の維持に努めます。		流用額	0
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 水道メーター購入費及び取付請負金が、当初の見込みを下回ったため。		予算現額	697,982,000
		決算額	448,232,126
<主な事業の成果> 1 メーター設置・管理事務 448,232,126 新設、改造、検定満期等に必要な水道メーターの執行管理を行いました。 また、検定満期を迎えた水道メーターを新しいものに取り替えました。		翌年度繰越額	0
		不用額	249,749,874
		前年度決算額	464,135,772
		増減	△ 15,903,646

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 給水装置管理事業（給水工事課）		当初予算額	1,837,000
局/部/課	水道局/業務部/給水工事課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/2目 設備改良費 資料(当初)P. 45	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 給水装置の新設、改造等における給水装置工事の適正な施工を確保するため、関連する法令に基づき審査業務及び検査業務を行います。		流用額	288,000
		予備費充用額	0
		予算現額	2,125,000
		決算額	1,772,100
		翌年度繰越額	0
		不用額	352,900
		前年度決算額	0
		増減	1,772,100
<主な事業の成果> 1 給水装置管理事務（給水工事課） 1,772,100 給水装置工事における審査業務及び検査業務の適正かつ円滑な実施のため、水道料金システムの改修等を行いました。			

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 施設整備事業		当初予算額	12,137,756,000																		
局/部/課	水道局/給水部/水道計画課	補正予算額	△ 220,790,000																		
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/1目 施設整備費等 資料(当初)P. 45	前年度繰越額	3,840,744,251																		
<事業の目的・内容> 安全・安心な水道水を安定して供給していくため、水道施設の計画的な更新・改良を進めるとともに、地震等の災害に対しても信頼性の高い強靱な水道を構築します。		概要(2補)P. 47	流用額 △ 1,056,000																		
		予備費充用額	0																		
		予算現額	15,756,654,251																		
		決算額	10,724,496,621																		
		翌年度繰越額	3,588,499,319																		
		不用額	1,443,658,311																		
		前年度決算額	9,256,512,873																		
<不用額の理由> 工事請負費において契約差金が生じたため。		増減	1,467,983,748																		
<主な事業の成果> 1 主要な施設整備業務 10,421,360,821 (1) 地下水源の整備 東大宮浄水場の1号取水井の整備及び相野原配水場の4号取水井と導水管の整備を行いました。 (2) 拠点施設の整備 西部配水場自家発電設備の更新及び東部配水場自家発電設備の更新を行いました。 (3) 老朽管の更新 漏水及び事故の防止に努めるとともに、耐震化を図るため、老朽管の計画的な更新を行いました。 重要給水施設への給水ルートである東部幹線1系と北部幹線の更新を行いました。 (4) 耐震化の推進 北部配水場の更新を行いました。		[参考] 主な建設改良事業費内訳 (単位：円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設工事</th> <th>10,418,967,552</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地下水源の整備</td> <td>337,854,000</td> </tr> <tr> <td>拠点施設の整備</td> <td>182,989,400</td> </tr> <tr> <td>配水ブロックの整備</td> <td>173,207,100</td> </tr> <tr> <td>配水支管の整備</td> <td>701,603,884</td> </tr> <tr> <td>老朽管の更新</td> <td>8,247,297,785</td> </tr> <tr> <td>耐震化の推進</td> <td>776,015,383</td> </tr> <tr> <td>施設工事に係る経常的事務経費 施設整備事業推進業務</td> <td>2,393,269</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,421,360,821</td> </tr> </tbody> </table>		施設工事	10,418,967,552	地下水源の整備	337,854,000	拠点施設の整備	182,989,400	配水ブロックの整備	173,207,100	配水支管の整備	701,603,884	老朽管の更新	8,247,297,785	耐震化の推進	776,015,383	施設工事に係る経常的事務経費 施設整備事業推進業務	2,393,269	計	10,421,360,821
施設工事	10,418,967,552																				
地下水源の整備	337,854,000																				
拠点施設の整備	182,989,400																				
配水ブロックの整備	173,207,100																				
配水支管の整備	701,603,884																				
老朽管の更新	8,247,297,785																				
耐震化の推進	776,015,383																				
施設工事に係る経常的事務経費 施設整備事業推進業務	2,393,269																				
計	10,421,360,821																				
2 負担金を受けて実施する業務 303,135,800 総合的なまちづくりを進めている土地区画整理事業において、水道管の整備を行いました。 また、配水支管整備事業及び老朽管更新事業の路線において、消火栓の設置を行いました。																					

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 施設整備事務事業（北部水道建設課）		当初予算額	32,454,000
局/部/課	水道局/給水部/北部水道建設課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/1目 施設整備費等 資料(当初)P. 46	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 水道施設整備事業（水道管布設等）の建設工事に使用する設計・積算システムの管理業務、工事現場の技術基準・監理体制を維持するための技術管理全般の業務を実施します。なお、当課では水道計画課からの依頼による建設工事の設計、積算、工事監理、精算業務を実施します。		流用額	0
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 委託料において、契約差金が生じたため。		予算現額	32,454,000
		決算額	30,440,887
<主な事業の成果> 1 施設整備推進業務（北部水道建設課） 30,440,887 水道施設整備事業（水道管布設等）の建設工事に関する積算業務の効率化を図るため、電算システムを運用するとともに、適正な積算を図るため、水道資材等価格調査業務を実施しました。また、建設工事の設計及び監督業務を実施しました。		翌年度繰越額	0
		不用額	2,013,113
		前年度決算額	28,914,434
		増 減	1,526,453

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 施設整備事務事業（南部水道建設課）		当初予算額	5,342,000
局/部/課	水道局/給水部/南部水道建設課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/1目 施設整備費 資料(当初)P. 46	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 水道計画課からの依頼による水道施設整備事業（水道管布設等）の建設工事及び、他の所管からの依頼による改修工事等の設計、積算、工事監理、精算業務を実施します。		流用額	0
		予備費充用額	0
		予算現額	5,342,000
		決算額	5,035,526
<主な事業の成果> 1 施設整備推進業務（南部水道建設課） 5,035,526 水道施設整備事業(水道管布設等)の建設工事及び他所管からの依頼による改修工事等の設計、積算、工事監理、精算業務を実施しました。		翌年度繰越額	0
		不用額	306,474
		前年度決算額	4,725,600
		増 減	309,926

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 配水管維持管理事業			当初予算額	16,503,000
局/部/課	水道局/給水部/維持管理課		補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/2目 設備改良費	資料(当初)P. 47	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 配水管等の適切な管路の移設、付帯設備の機能維持に係る点検、水道管路情報管理システムの運用、管理等を実施します。 また、配水管内の水質劣化防止や漏水調査を計画的に実施します。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	16,503,000
			決算額	16,501,992
			翌年度繰越額	0
			不用額	1,008
			前年度決算額	8,710,310
			増減	7,791,682
<主な事業の成果> 1 配水管管理業務 13,862,040 配水管、給水管等の管路情報を一元管理している水道管路情報管理システムを賃借した機器類で運用しました。				
2 漏水調査業務 2,639,952 有効率を高いレベルで維持し、漏水を早期発見するため、賃借等した機器を運用して、漏水調査を計画的に実施しました。				

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 配給水管修繕事業			当初予算額	294,000
局/部/課	水道局/給水部/工務課		補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/2目 設備改良費	資料(当初)P. 47	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 迅速かつ円滑に漏水修繕を行うことにより、安定した水道水の供給を図ります。			流用額	0
			予備費充用額	0
			予算現額	294,000
			決算額	226,600
			翌年度繰越額	0
			不用額	67,400
			前年度決算額	5,687,612
			増減	△ 5,461,012
<主な事業の成果> 1 配給水管修繕業務 226,600 迅速な漏水修繕対応のために必要な固定資産を調達しました。				

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 配水管理事業		当初予算額	749,669,000
局/部/課	水道局/給水部/配水課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/2目 設備改良費   資料(当初)P. 48	前年度繰越額	31,341,200
<事業の目的・内容> いつでも安全で良質な水を、必要な量、安定して供給するため、水道の基幹施設である浄配水場の施設・設備の維持管理を計画的、効率的かつ効果的に実施し、適切な運転管理を行います。		流用額	△ 23,053,000
		予備費充用額	0
<不用額の理由> 設計積算の再精査による減額及び契約差金に加え、一部の工事内容が変更になったため。		予算現額	757,957,200
		決算額	544,515,400
<主な事業の成果> 1 浄配水設備改良業務 544,515,400 浄配水場のポンプや電機設備など、老朽化した設備の計画的、効率的かつ効果的な改良・更新を行いました。		翌年度繰越額	57,959,000
		不用額	155,482,800
		前年度決算額	299,165,900
		増減	245,349,500

(水道事業会計・支出)

(単位：円)

事業名 水質管理事業		当初予算額	50,083,000
局/部/課	水道局/給水部/水質管理課	補正予算額	0
款/項/目	1款 資本的支出/1項 建設改良費/2目 設備改良費   資料(当初)P. 48	前年度繰越額	0
<事業の目的・内容> 水道水の水質検査は、直接口にする水の安全性を確認するためのものであり、安全な水道水の供給の基礎となり、その結果には高い信頼性が求められます。法令で定められている水質基準項目を始めとして、水道水の水質管理に必要な項目等の水質検査、お客様からの請求検査などを行います。		流用額	0
		予備費充用額	0
<主な事業の成果> 1 水質検査業務 49,629,344 水質検査に必要な機器の購入及びリース料の支払を行いました。		予算現額	50,083,000
		決算額	49,629,344
		翌年度繰越額	0
		不用額	453,656
		前年度決算額	51,490,120
		増減	△ 1,860,776





## 職員人件費

(単位:円)

会 計	当初予算額	補正予算額	前年度繰越額	流・充用額	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額
病院事業会計	11,180,339,000	△ 237,478,000	0	0	10,942,861,000	10,515,480,366	0	427,380,634
下水道事業会計	1,308,781,000	0	0	0	1,308,781,000	1,114,635,134	0	194,145,866
水道事業会計	3,671,952,000	0	0	0	3,671,952,000	3,424,736,428	0	247,215,572





この資料は220部作成し、1部当たりの印刷経費は、173円です。